

【美術】

～ClassPad.net の同時編集機能・カメラふせんを活用する～

クロッキー描画の相互評価により、互いに学び合う姿勢を育む授業
クロッキーの描画を通じて、絵画における基本スキルを高める。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：対象を素早く描くクロッキーの描画を通じて、観察力や描写力といった、美術における基礎的なスキルを養う。

生徒向けの目標：美術の基礎的なスキルを高めるとともに、互いの作品を見せ、感想を伝え合うことで、他者の長所を認めたり、そこから学んだりする姿勢を養う。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **生徒の理解促進** : 教師の描画を、描いているプロセスまでリアルタイムで見せることで、何をどうすればよいか視覚的に理解させることができる。
- ・ **協働学習促進** : 互いの作品について同時編集機能で感想を書かせることにより、生徒たちに協働学習の重要性を認知させることができる。
- ・ **個別最適学習促進** : 最も基礎的と言えるスキルの習熟度をクロッキーという形で表現・共有させることで、教師が個々の習熟度に応じたフォローやアドバイスをしやすくなる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

本日の流れ

- ・ スケッチとクロッキーの違いを理解しよう！
- ・ 実際にクロッキーを描いてみよう！
- ・ クラスメートの描いたクロッキーを鑑賞し、感想を送り合おう！

概要の説明

スケッチとクロッキーの違いを説明し、クロッキーを描くことが対象の本質を素早く的確に捉える訓練になることを伝える。

step2

【導入・実演】

- ・ クロッキーの参考画像をいくつかお見せします。
どんなところに焦点が当てられた作品なのかを考えながら見てみましょう！
- ・ 先生がクロッキーを描いてみます。
鉛筆の動き方なども確認しましょう！

導入・実演

事前に用意していたクロッキーの画像をいくつか見せる。また、複数の人物写真から生徒に1枚選ばせ、その写真のクロッキーを教師がその場で書いてみせる。

いくつかのクロッキー画像をファイルふせんに貼り付け、スライドショーで見られるよう準備しておく。また、生徒が選んだ人物写真のクロッキーを描くときには、同時編集機能を利用して、教師がデジタルノートに手書き機能で描いている様子をリアルタイムで見せる。

step3



制作

グループ（ペア）に分かれ、生徒同士でクロッキーを描き合わせる。この際、順番で（ペアの場合は交互に）モデルを務めるよう注意しておく。

描画はスケッチブックに行ってもいい、出来た生徒からクロッキーをカメラふせんの機能で撮影する。教師は教室を巡回し、優れた作品をやはりカメラふせんの機能で撮影しておく。

step4

発表&鑑賞!

- ・カメラふせんで撮影した**自分のクロッキー**を、**クラス全体に共有**しましょう!
- ・自分の作品が写ったカメラふせんの近くに、テキストふせんを用意しましょう!
→グループのメンバーは、このテキストふせんにコメントを書きましょう!

発表・鑑賞

カメラふせんで撮影したクロッキーをクラス全体に共有し、グループ（ペア）ごとに感想などをテキストふせんにコメントしてもらう。

クロッキーの共有には送受信機能を利用させる。また、1枚のクロッキーに対して1つのテキストふせんを用意するようにさせ、メンバーが同時編集機能を用いて記名式でコメントを書くように指導する。

step5

【クロッキー描画の目的】

- ・クロッキーは、美術における様々なスキルの基礎になる。
例：観察力
描写力
表現力
対象を立体的に把握する力 など
↑
上達で悩んでいる、人体が自然に描けない...
そういう人ほど効果的です!

まとめ

クロッキーが、美術における様々なスキルの基礎になることを伝える。

迷い線を目立たせずきれいに描いた人物画の描き方を、短いYouTube動画「【原因はコレ!】線が汚い人の共通点と解決方法を解説!【切り抜き】」

(<https://www.youtube.com/watch?v=Kf5wEJku6Ps>)などで確認させる。教員側で用意した画像をファイルふせんで見せてもよい。

step6

【発展課題】

クロッキーは、線のみで描く簡易な素描ですが、この画法を延長していくことで、どれだけことが表現できるでしょうか?

巨匠と呼ばれる画家の作品から、クロッキーの可能性について考えてみましょう。

【なかなかうまく描けない人のために...】
クロッキーを、**スモールステップ**で上達させる方法を解説している動画です。

ぜひ視聴してみてください!

参考・補足①

巨匠と呼ばれる画家の作品から、クロッキーの可能性を考察させる。

また、過去に先輩たちが残した作品を見せよう。また、それらは指定のフォルダからいつでも見られることを伝える。また、撮影しておいた優れたクロッキーを見せ、コツなどを伝える。

ミケランジェロの力強い素描や、レオナルド・ダ・ヴィンチの人体解剖図など、クロッキーの技術の延長上にあると言える絵の画像をファイルふせんに貼り付けておき、生徒に見せる。

また、過去の生徒が残した作品を事前にファイルふせんを利用して用意し、わかりやすいフォルダ名にして格納しておく。

さらに、step3で撮影した映像を、ここで送受信機能を用いて共有して見せたり、上記のフォルダに格納したりする。

参考・補足②

うまく描けない生徒に配慮し、初心者向けの参考動画を閲覧できるリンクふせんで配布する。

「hide channel【顔と体の描き方講座】」というチャンネルの動画だが、再生リスト内に「簡単クロッキー大全シリーズ」というものがあるので、シリーズ全体を見ておくよう推奨してもよい。

YouTube動画「初心者が挫折しないための簡単クロッキーLV.1」

(<https://www.youtube.com/watch?v=Ej9EIlfoc>)のURLを貼り付けたリンクふせんを用意しておき、授業の最後に送受信機能を用いて生徒に共有する。